

\\ 笑顔とがんばりの町 //

広
報

おのまち

2022

11

No.717





ハロウィンの衣装を着て、リカちゃんキャッスルへ遠足に出発！
かわいらしい衣装を着て出発する子どもたちは笑顔で遠足を楽しんでいました。

写真：美正写真館

広報おのまちは



iOS用



android用



で配信中！

INDEX

- 02 INDEX / ボランティア募集中！子ども見守り隊
- 03 100歳の誕生日おめでとうございます／モッツアレラチーズ作りを行いました
- 04 2022小町ふれあいフェスタ
- 06 広島平和記念式典派遣事業
- 08 笑顔とがんばり子育て応援金贈呈／あおぞら保育園幼年消防クラブ結成式
- 09 おのまち認定こども園通信
- 10 小野小通信／小野中通信／令和4年度地方教育行政功労者表彰を受賞
- 11 小野高通信／小野町教育委員会委員に任命
- 12 福島県知事選挙結果／「つどいの広場」開催
- 13 小野町消防団秋季検閲式／ふるさと文化の館情報
- 14 大学生がまちづくりについて調査／来て おのまち住宅取得支援事業
- 15 小野小町ふるさと応援寄附金の寄附状況
- 16 令和3年度財政公表
- 20 令和3年度人事行政の運営などの状況
- 23 おのまち地域おこし協力隊活動記
- 24 お知らせ
- 26 住民総合健診(追加健診)の予約はお済みですか？
- 27 町税など納期のご案内／国民年金コーナー
- 28 みんな笑顔で健康づくりコーナー
- 30 公立小野町地方総合病院からのお知らせ／小野町地域包括支援センターからのお知らせ
- 31 夜間診療所当番医・休日当番医
- 32 各種健診・教室日程
- 33 食品放射能測定結果／上水道水質検査結果／お誕生日おめでとうございます／おくやみ申し上げます／町の人口と世帯数
- 34 紹介状用写真・写真館で無料撮影！

ボランティア募集中！ 子ども見守り隊

子どもの安全のためには、地域の皆さんの見守りが有効です。
登下校時の子どもたちの**見守りボランティア**を募集しています!!
活動は「できる人が」「できるときに」「できることで」!(毎日でなくてOK)
いつもの生活の中で無理をしないで、末永く！
活動の際に着用する「見守り隊帽子」をお渡しします！



ボランティア活動の方法・内容

方法はいたって簡単！

登下校時時刻に合わせて“見守り隊帽子”をかぶって歩くだけ！

■活動例

- 登下校時刻に、自宅前や自宅付近であいさつや声掛け
- 通学路や交差点での交通安全指導で見守り
- 登下校の時刻に合わせて、散歩やジョギング中に子どもを見守り
- 不審者の目撃や事故の発生、危険箇所などの情報を警察や教育委員会へ連絡 など

登録方法

町教育委員会にご連絡ください。申し込み用紙をお渡しします。登録いただいた方には「見守り隊」の帽子をお渡しします。

☎公民館

☎72-2125

スクールバスの運転手の皆さんにも見守り活動にご協力いただいています。

100歳の誕生日おめでとうございます

宇佐美シメ子さん(皮籠石)が10月2日にめでたく満100歳の誕生日を迎えました。



誕生日当日、町から百歳賀寿ならびに敬祝金、県からは賀寿ならびに木杯、町議会、町社会福祉協議会からお花のアレンジメントがそれぞれ宇佐美さんに贈られました。

宇佐美さんは「長寿の秘けつは、1日3食きちんと食べること、高齢になっても農作業で体を動かしていたこと」と話していました。

いつまでもお幸せに過ごされますよう心からお祈りします。小野町の100歳を超える長寿の方々は、10月末で13人です。

モッツァレラチーズ作りを行いました

小野町産業6次化・発酵のまちづくり推進協議会乳製品部会で、モッツァレラチーズ作りを行いました。

チーズを手作りする体験は初めてのメンバーがほとんどで、製造過程でできる副産物を味わってみたり、形になったチーズを見たりと、これまでになかった経験に感動があふれていました。

部会では、今後も乳製品の試作や勉強会を通して、将来の商品化に向けて取り組んでいく予定です。



乳製品の試作開始 //



ホエイとは？
牛乳から乳脂肪分などを除いてできる水溶液のこと

// 生乳を殺菌します //



// 乳酸菌とレンネットを加えます //



// 固まってきました //



// ホエイを除去 //



// 形を整えて完成！ //



// 食塩水に漬けて塩味を加えます //



// さけるチーズになりました //



// 固さを確かめながら練ります //



3年ぶりの開催

おのまちのいいひと、いいもの、 2022小町ふれあいフェスタ eスポーツ

2022小町ふれあいフェスタが10月29日と30日に、小野運動公園で行われました。

小野中学校吹奏楽部による演奏がオープニングに花を添え、町民の明るい笑顔があふれる2日間が幕を開けました。

小町ふれあいフェスタ内では今年初開催の「健康まつり」のほか「eスポーツフェスティバル」あぶくま高原新そばまつり「オールドカーミーティング」などバラエティーに富んだブースが並び、屋外では飲食や特産品等を販売する出店、屋

内では芸術作品が展示され、会場は大変賑わいました。「ステージイベント」では、太極拳や子どもたちによるストリートダンス・フラダンス、小野高校の生徒による活動発表、司会のフレアいのバーテンダーYOKOTAさんによる大道芸パフォーマンスが来場者を楽しませていました。

また、会場内の各ブースに設置されたスタンプポイントを回る健康スタンプラリー、クリア者による抽選会が行われました。

【健康まつり】

初開催となった健康まつりでは、花王株式会社との共催による歩行測定会、カーブスおのタウン・コムコムによるストレッチ運動といった健康増進ブース、ウエルシア薬局株式会社小野新町店による握力計を使った健康測定や明治安田生命によるベジチェック（野菜摂取量の測定）といった測定ブースが設けられました。

またセラバンドなどを使用した運動や体力測定といった介護予防ブース、公立小野町地方総合病院スタッフによる血圧測定・健康相談、ラジオ体操講習会なども行われました。

参加者は自身のからだの状態を把握し、健康を維持・増進するための運動を学び、体験したことで、健康づくりの意識が高まった様子でした。





11



12



13



14



15



2



4

- 1_小野中吹奏楽部オープニング演奏
- 2_フラダンス
- 3_ストリートダンス
- 4_太極拳
- 5_【健康まつり】ラジオ体操
- 6_【健康まつり】病院による出前講座
- 7_【eスポーツフェスティバル】
実況席
- 8_【eスポーツフェスティバル】
レースゲームの様子
- 9_フレあいバーテンダー
YOKOTAさんのショー
- 10_バルーン作品をプレゼント
- 11、12、13_会場の様子
- 14_白バイに乗れました
- 15_オールドカーミーティング



9



6



10



8

「eスポーツ フェスティバル」

29日には、「グランツーリスモSPORT 小野町CUP2022」が開催されました。全国および当日会場内で開催された予選を勝ち抜いた参加者で争われた大会は、白熱したレースとなり、ゲーム実況やYouTubeerとして活躍しているフジナツ健さん、福島中央テレビの井上千沙アナウンサーの実況と2019年都道府県対抗eスポーツ選手権福島県代表小倉祥太さんの解説により、観覧席も一層の盛り上がりを見せていました。

30日はeスポーツ体験コーナーとして、「eスポーツ講習会」『eFootball11』によるミニ大会」が行われました。ミニ大会は前日とは異なり、プレイヤーの表情やプレーを直に見ることができるオフライン大会で行われました。プレイヤーだけでなく、観覧された多くの方がeスポーツの魅力に触れたひとときでした。

※eスポーツは、子どもから大人まで楽しむことができ、高齢者の認知症予防などにも効果が期待されています。

広島平和記念式典派遣事業

8月6日に広島市平和記念公園で行われた平和記念式典に
小野中学生3人が参加しました。



平和記念公園にて(左から末永さん、白石さん、村上さん)

広島市原爆死没者慰霊式ならびに

平和祈念式に参加しました

白石 陽みなみ

私は広島平和記念式典派遣で平和について学んできました。その中で私が感じたことは、三つあります。

一つ目は、原子爆弾の恐ろしさです。今から77年前の8月6日、広島に一つの原子爆弾が投下され、多くの人々の命、将来、夢をうばいました。たった一つの原子爆弾で数万人の命を奪ってしまうことがとても恐ろしいと思いました。

二つ目は、被爆者の苦しみです。原子爆弾が落とされ、焼け野原となった広島町の、ドロドロに溶けて垂れた肌、真っ黒に焼け焦げた皮ふ。そして、横たわる多くの人々がいたそうです。このような話を聞いて、被爆者は私が思っていたよりもはるかに苦しんだのだと思いました。

三つ目は、平和記念公園には、原爆死没者慰霊碑や平和の鐘、原爆の子の像など、平和を願う慰霊碑や銅像などがありました。死没者慰霊碑には、「安らかに眠って下さい 過ちは繰返しませぬから」

と刻まれています。私はこの言葉を読んで、戦争は絶対にしてはいけないということをおぼえて思いました。

平和記念公園の一角にある原爆ドームは、原子爆弾の悲惨さを今に伝える建造物です。戦争の悲惨さと平和を願う気持ちがあつたため、現在も残されており、世界遺産にも登録されています。

夕方には、「とうろう流し」が行われました。家族を原爆で失った遺族の方々が供養のために手作りの灯籠を川に流したことが始まりだそうです。今では、平和記念公園で祈念式が行われる8月6日の夜の恒例行事として定着しているそうです。

今回の広島派遣事業に参加して、たくさんのことを学んでくることができました。この経験これから生活に生かして、平和な暮らしをこの先も続けるためにはどうしたら良いのかを考えて行動できる人になりたいです。

末永寛翔^{ひろと}

僕が広島平和記念式典派遣事業に参加を希望した理由は、原爆によってどのような被害があったのか、今は何が残っているかを実際にこの目で見たいと思ったからです。

広島に着いて、最初にとっても栄えたきれいな町だと感じました。77年前にこの町が焼け野原になっていたのだとは、とても思えませんでした。

祈念式当日の8月6日は晴れて暑い日で、原爆が落とされた日も同じような天気だと知りました。平和祈念式の会場が近くなると、大型のバスや警察車両、テレビ局の車が多くなり、会場には、学生からお年寄りまで多くの人がいま

した。式典の中で、一番心に残ったことは、グテーレス国連事務総長の挨拶で、「核兵器は愚かなものです。被爆者の方々のメッセージを聞き入れてください。もう二度と広島

島の悲劇を引き起こさないでください。もう二度と、長崎の惨禍を繰り返さないでください。そして今日ここに

若い世代の皆さまへ、被爆者

の方々が始められた任務を成し遂げてください。世界は、この地、広島で起こったことを決して忘れてはなりません。

犠牲者の皆さまの記憶、そして生き残った方々が残してくださった遺産は決して消滅することはありません」という言葉でした。

また式典後に、参加した平和の集いで聞いた被爆者の方々の当時の様子は、耳をふさぎたくなるような辛い話がたくさんありました。今年も約1,200人の被爆者の方

が亡くなったそうです。広島から遠く住んでいる僕も、広島で見聞きしたことを忘れることのないようにしていきたいと思いました。

最後にこのような機会を与えてくださった町の関係者の皆さん、引率して下さった先生方に心から感謝します。ありがとうございました。

村上悠梨華^{ゆりか}

私は広島に行ってたくさん

ののことを学んできました。その中でも印象に残っていることが二つあります。

一つ目は、原爆ドームについてです。広島は1945年

8月6日午前8時15分に上空600メートルで原子爆弾が炸裂し、破壊的な被害を受けました。資料館には、当時の戦後の町の様子や人々が着ていた服などがありました。私はその衣服や所持していた物を見て、「今の戦争のない時代に生まれてきてよかった。でも当時亡くなっ



とうろう流し

つ

の爆弾で約20万人以上の人の命が失われ、半径2キロメートルにも及ぶ市街地が廃墟化しました。もし自分が広島で戦争にあっていたら、今は親しくなっているアメリカ合衆国に怒りを抱いていたと思います。

二つ目は、水を飲んではいけないということについてです。私は被災当時、水を飲んではいけなかったことを、広島に行って初めて知りました。やけどをすると体内の水

分が失われて脱水状態になり、飲みすぎなければ水を飲んでもよかったが、原爆での被害で起きたやけどは直接命の危機に繋がるものが多く、当時の人々はすごく苦しかったと思います。そんな中でも

た。そして、当時の人々の暮らしの様子や都市の発展などを見て、とても



原爆ドーム

と感じました。道に転がる多くの死体、死体で埋め尽くされた川など、悲惨な死を見てとても苦しかったな、辛かったな、と思います。もう過去に起こったことは変えることはできませんが、未来は創ることができます。今はウクライナとロシアの間で戦争が続いています。戦争が終わった後の人々の生活や生き方は変えることができます。今、生きていることと、これまで自分たちを育て上げてくれた人たちに感謝して生活していこうと思います。そしてこれからの未来を創っていききたいと思います。



健やかな成長を願って 笑顔とがんばり子育て応援金贈呈



新たな町民の誕生を祝福し、赤ちゃんの健やかな成長を願い、「小野町笑顔とがんばり子育て応援金」が贈られました。あわせて町有林の間伐材で作られた子ども用いす「おめでたいっすー」と乳児期から読書にふれてもらうための「絵本セット」が贈られました。

贈呈を受けたお子さんは次のとおりです。(敬称略)

今泉	葵 ^{あおい}	佐藤	莉紬 ^{りっつ}
長内	まどか	二瓶	湊斗 ^{みなと}
亀田	紬 ^{つむぎ}	新田	悠友 ^{ゆう}
草野	隆宗 ^{たかむね}		



令和5年度 おのまち認定こども園 入園児募集のお知らせ

令和5年度(令和5年4月)入園児を次のとおり募集します。

入園を希望される方は、期限内に忘れず、申し込みをお願いします。手続きが遅れると、4月から入園できない場合がありますのでご注意ください。

詳しくは、別途配付する案内チラシをご覧ください。

■申込書配付期間

11月14日(月)から11月30日(火)まで

■配付場所

【新入園児】子育て支援課

【在園児】おのまち認定こども園

■申込受付期間

12月1日(木)から12月20日(火)まで

☎子育て支援課

☎72-2212

あおぞら保育園幼年消防クラブ結成式



結成式の様子(上)
消防車の見学をする幼年消防クラブの皆さん(左)

幼年消防クラブの結成式が10月6日、あおぞら保育園で行われました。

この幼年消防クラブは、正しい火の取り扱いについて学び、火遊びなどによる火災の減少を図ることを目的に結成されたものです。結成式では、田村消防署長からはっぴが授与され、クラブ員全員による誓いのことばが発表されました。

今後、幼年消防クラブの皆さんには、火災予防の大切さを学び、将来の地域防災の担い手になることを期待します。

おのまち認定こども園通信



バルーンパフォーマンス(5歳)



紅白対抗リレー(5歳)



宅急便屋さん(4歳)



モンスターランド(3歳)



リズムダンス(4歳)



閉会式

はじめての運動会!

おのまち認定こども園の初めての運動会が9月24日、町民体育館で行われ、3歳児から5歳児まで総勢120人が参加しました。

オープニングは、きらびやかに光るクラスカラーのポンポンを手にとって全員で入場しました。ドキドキ、ワクワクしながらも弾ける笑顔で、大きく手を振りながら会場を盛り上げました。年齢別に行われた個人競技では、園児たちが年齢に合わせたさまざまなミッションに挑戦し、最後まで諦めず、ゴールまで頑張つて走り切りました。

団体競技では、モンスターランド、紅白玉入れ、華やかなリズムダンス、アニメソングに合わせたダンスとバルーンパフォーマンスなどが行われました。

最後に5歳児の紅白対抗リレーが行われ、力を合わせてバトンを繋ぎ、追い越したり追いつかれたりと大接戦で白熱したリレーでした。

新型コロナウイルス感染予防のため、保護者の方の観戦には制限がありましたが、どの種目に対しても温かく大きな拍手が送られ、子どもたちもうれしそうでした。

今回の運動会を通して、友達と協力して成し遂げることの楽しさや負けることの悔しさなどを経験しながら、園児一人ひとりがさらに成長することができました。

地域子育て支援事業のお知らせ

●11月のイベント

★絵本の読み聞かせ

11月30日(※)

午前11時から午前11時30分まで

★園庭開放

11月20日(◎) 午前10時から正午まで

※小学生以上のお子さんは園庭で遊ぶことはできませんのでご了承ください。

(雨天時は遊戯室で映画鑑賞となります。)



■開設日

月曜日・水曜日・金曜日

■開設時間

午前10時から午後3時まで

■料金 無料

■予約先

おのまち認定こども園

☎73-8321

●12月のイベント

★講演会

「幼児施設における新型コロナウイルス感染対策」

12月7日(◎) 午後6時から午後7時まで

【講師】

福島県立医科大学放射線健康管理学講座
坪倉正治主任教授



※各イベントは定員がありますのでご了承ください。

運動会開催!!

今年度の小野小学校の運動会は、校庭の法面工事に伴い、町民体育館で実施しました。全種目「団体競技」で、すべてが紅白対抗でした。自分たちの組に対する子どもたちの応援が広い町民体育館に響き渡りました。1年生と6年生が協力する種目やかわいいダンスと玉入れを組み合わせた種目もありました。子どもたちの“元気”が来場された保護者の皆さんに届いた運動会でした。



英語弁論の県大会で優勝！ 1年生2人も支部大会入賞！

福島県中学校弁論大会が9月9日、田村市文化センターで開かれ、佐藤真子さん(小野中3年)が「創作の部」で1位となりました。「The World of Silence(音のない世界)」手話を通して出会った方の生き方に感銘を受け、自分の夢を見つけたことを豊かな表現力で発表しました。そして10月13日に行われた北部日本代表決定予選大会に出場しました。

田村地区大会では、「暗唱の部」で1年生の西牧晏那さんが1位、宗像奏美さんが3位に入賞しました。



左から宗像奏美さん(1年生)、佐藤真子さん(3年生)、西牧晏那さん(1年生)

令和4年度地方教育行政 功労者表彰を受賞



左から町長、大千里さん、教育長

前教育委員の大千里義市さんが福島県教育委員会の令和4年度教育・文化関係表彰式で「地方教育行政功労者」として表彰されました。

平成20年3月19日から約14年間にわたり本町教育委員を歴任し、うち6年半は教育委員長を務め、学校教育をはじめ社会教育の振興に尽力されました。

これまでの永年のご功績に対し、紙上より厚くお礼申し上げます。このたびの受賞、誠にありがとうございます。

今後ますますのご活躍をお祈りします。

前期終業式・後期始業式を実施

10月3日に生徒会役員任命式・賞状伝達式ならびに前期終業式・後期始業式をリモートで実施しました。生徒会役員任命式では、新しい生徒会役員が揃って任命書を授与されました。大変頼もしい役員で、今後の生徒会運営を期待したいです。

賞状伝達式は、国民体育大会と新人戦地区大会に参加した弓道競技や全国高校生そば打ち選手権、家庭クラブの県南地区大会、ビブリオバトル中通地区大会および検定試験合格者が各々賞状を授与されました。一生懸命に取り組んだ成果を全校生で祝福することができました。

前期が終了し、後期の学校生活が始まります。今年は後期に一大行事が続きますが、気持ちを新たに小野高生の気持ちを一つにして行事を盛り上げていきます。皆さんのご協力よろしくお願いします。



稲刈り実施

10月3日快晴の空のもと、小野高校水田で産業技術系列専攻生が心を込めて育てたひとめぼれの稲刈りを実施しました。産業技術系列専攻の2・3年生が稲刈りに参加し、生徒たちの達成感あふれる笑顔が立派な稲穂とともにキラキラ輝いていました。天気にも恵まれ、生徒たちは体調を崩したり、けがをすることもなく元気に稲刈りをして、収穫の秋を満喫しました。



君の夢をカタチに！！
福島県立小野高等学校

福島県田村郡小野町大字小野新町字宿ノ後63
☎0247-72-3171 FAX 0247-72-6211
<http://www.ono-h.fks.ed.jp>



村上麻美さん

小野町教育委員会委員 に任命

小野町教育委員会委員の任期満了に伴い、新たに村上麻美さん（小野赤沼・新任）が選任されました。任期は令和4年10月1日から令和8年9月30日までの4年間となります。

教育委員会は、教育行政における重要事項や基本方針を決定する機関であり、その委員は議会の同意を得て町長が任命します。

なお前任の大千里義市さんが任期満了により、令和4年9月30日付けで退任されました。大千里さんは、平成20年3月19日から約14年間にわたり、小野町教育環境整備の基本方針の改定をはじめとした教育行政の進展に多大なるご尽力をいただきました。紙上より感謝申し上げます。